

今月の 新刊紹介



看護の力で患者を救う！ 人工呼吸器集中レクチャー

監修：井上賀元
執筆：竹村知容
発行：医学書院
定価：2640 円（本体 2400 円＋税 10%）
A5 判 176 ページ

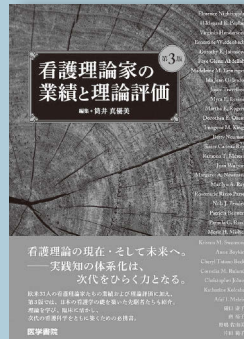
人工呼吸器の管理は、看護の質により患者の生命予後に影響を及ぼしやすい分野である。SNS で人気の Dr. ひつじが、人工呼吸器の管理と看護のケアを患者の生命予後を改善する視点から解説。人工呼吸器に関わる全ての医療従事者が活用できる手引書。



《シリーズ ケアをひらく》 やっと言えた

著：齋藤美衣
発行：医学書院
定価：2200 円（本体 2000 円＋税 10%）
A5 判 200 ページ

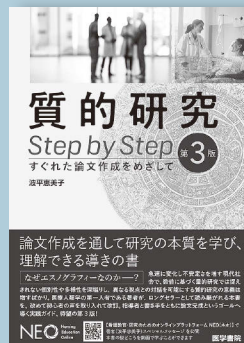
深い心の傷（トラウマ）から、人は回復できるのか？ 実感を伴わない身体、理由の分からない不調、襲ってくる死にたい気持ち。カウンセリングルームの扉を叩いた著者が苦闘の末に見たものとは。支援者とのぎりぎりのやりとりが、予想外の扉を開いていく様を描く。



看護理論家の業績と 理論評価 第3版

編集：筒井真優美
発行：医学書院
定価：7040 円（本体 6400 円＋税 10%）
B5 判 656 ページ

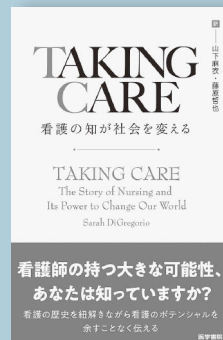
看護理論を日本の看護者自身の視点から著したロングセラーの第3版。今版では、日本に看護学博士課程が設置される以前に渡米し、博士号を取得した日本の看護学の礎を築いた先駆者たちを紹介。理論を学び、臨床に活かし、次代の看護科学を共に築くための必携書。



質的研究 Step by Step 第3版 すぐれた論文作成をめざして

著：波平恵美子
発行：医学書院
定価：3080 円（本体 2800 円＋税 10%）
B5 判 144 ページ

なぜ、エスノグラフィーが有効なのか。論文作成を通して研究の本質を学び、完成へと導く実践ガイドの最新版。医療人類学の第一人者である著者が、初學者の声を取り入れ、Step ごとに会話しさまざまな問題や疑問への対応策を理解しやすいよう加筆・修正。



TAKING CARE 看護の知が社会を変える

原著：Sarah DiGregorio
訳：山下麻衣、藤原哲也
発行：医学書院
定価：3300 円（本体 3000 円＋税 10%）
A5 変判 288 ページ

知識・技術を駆使して働く看護師は、社会を変える大きな可能性を持つ存在である。看護の歴史をひもとく、看護が人間社会の根幹の1つであること、看護師に支えられている社会の一員として誰もが知るべき看護のポテンシャルを、本書が余すところなく伝える。



マタニティ診断 ガイドブック 第7版

編集：日本助産診断実践学会
発行：医学書院
定価：3080 円（本体 2800 円＋税 10%）
B6 変判 248 ページ

出産前後の女性と新生児・乳児の状態を的確に捉えた上でケアの指針を示すために、マタニティ診断がある。実習での現象や現場の助産師の声を生かし、今版では、産後期から乳児の診断を取り出し乳児期とし、産後うつを捉えた診断名・診断指標を追加した。